

環境研究会・第100回越え記念講演会

近畿本部登録 環境研究会 会長 奥村 勝
 協力：公益社団法人日本技術士会 近畿本部
 公益社団法人大阪技術振興協会

環境研究会は、これまで環境問題を多面的に取り上げて、講演会開催に取り組んで参りました。お陰様で、趣旨に賛同いただいた多くの著名な先生方の講演会を開催することができました。第1回は2002年7月に京都大学のFIT創設者の植田和弘先生をお招きし、「環境保全を守る技術と社会システム」の講演をして頂きました。

それ以来、自然環境、地球環境、廃棄物、リサイクル、エネルギー、遺伝子、環境経済等の幅広い分野についての講演会を開催し、今年1月22日に第100回の講演会を終えることができました。偏に皆様方のご支援とご協力の賜物であると感謝申し上げます。

3月の講演会では100回越えを記念して、これまで講演会に参加頂いた方や支援頂いた関係者によるリレー講演（15分/テーマ）と討論会を計画し、1月より講演者の公募を行いましたところ、下記の8名の方から応募いただき、開催にこぎ着けることが出来ました。

なお、新型コロナ感染の拡大状況によっては、Web（Zoom）による開催に変更することもございます。その場合は、参加費の支払い方法を含めて、改めてご案内申し上げます。

記

日 時：2022年3月26日（土） 13：30～16：30

場 所：下記をご参照ください。

講 演：講師と発表テーマは次の通りです（五十音順）。

- 岡本昌也（電気電子・総監部門）：技術士として中小企業のSDGs経営の支援をしませんか？
 新保義剛（農業・総監部門）：気候変動の最新の動きから
 水道裕久（農業部門）：食料と環境問題 ～フードマイレージの低減と未利用資源の活用～
 丹生光雄（化学・総監部門）：持続可能な発展をするために何をすべきか
 中桐 栄（水産部門）：兵庫県の水産業にかかわる海の環境情報
 濱崎彰弘（環境・機械・生物工学・総監・化学部門）
 ：植林とカーボンプライシングで地球温暖化問題解決策の提案
 深田晃二（衛生工学部門）：省エネ・再生可能エネルギー・二酸化炭素捕集の可能性について
 南方英則（衛生工学・総監部門）：資源循環による循環経済に向けた拡大生産者責任制度について

（講演終了後：討論会）

場 所：アーバネックス備後町ビル 3Fホール
 地下鉄御堂筋線 本町駅 1番出口から
 徒歩約1分
 ＊1番出口から左（東）へ、最初の十字路を
 左（北）へ 左側2軒目のビル

参加費：1,500円（環境研究会会員以外の方）
 無料（環境研究会会員及び学生）

懇親会：講演会終了後、懇親会を予定しており、別途案内します。なお新型コロナウイルス感染拡大状況により中止する場合があります。

その他：会場での検温、手指の消毒、マスクの着用にご協力下さい。

【お申込み・お問い合わせ】

環境研究会連絡担当： 藤橋 雅尚 m.fujihashi@nifty.com

